

学びを「広げる」1年生

第1学年主任

10月に富山県出身のシンガーであるCHIKOさんを講師にお招きして、「生き方講演会」を実施しました。1年生として、せっかくの機会を最大限に利用するために、キャリアリーダーを各学級から募り、講演会成功に向けて主体的に準備に取り組みました。学級で講師の先生を初めて紹介するときには、何も知らない級友にクイズ形式で予想してもらったり、歌っている様子を動画で聴いたりするなどして、皆の講演会へ意欲を高める工夫を凝らしていました。当日の講演会では生徒の目が真剣で、自分たちの生き方を広げる貴重な学びになりました。

2学期は学校行事や日々の学校生活を通して多くの方々から学びを得ることはもちろん、学年全体が主体的に学び、自分自身の学びを「広げる」活動に取り組んできました。3学期は卒業される先輩や学校のために挑戦できる学年を目指していきます。



生き方講演会でCHIKOさんの質問に積極的に応じる生徒

自分で考えて、行動する

第2学年主任

今年度の砺波市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」は、コロナ禍前と同じく5日間の活動となりました。活動前に、学年全体で「自分で考えて、行動する」ことを確認しました。初めは、指示されたことを行うのに精一杯だったようですが、日を追うごとに、自分から進んで、やればよいことを尋ねていたようです。また、3日目を過ぎると、体力的なつらさを感じる生徒も少なからずいたようです。しかし、家族の励ましや事業所の方の声かけによって、充実した5日間になりました。



商品の棚入れを体験する生徒

社会で大人が実際にどのように働いているのかを目の当たりにし、尊敬の念を抱いた生徒や、中学2年生の今、どんな力を付けておけばよいのかまで考えをめぐらせた生徒もいます。生徒が将来、困難を乗り越えてたくましく生きていく力を育成していきたいと思います。

「合唱」から自分の生き方を考える

第3学年主任

2学期は、運動会、合唱コンクール、和鐘文化祭と、たくさんの行事や活動を通して、学年目標である前進・団結・感謝を体現できたと思います。11月には、音楽科の授業で取り組んでいた「友～旅立ちの時～」を学年で合唱したいという思いを受け、学年議会が中心となって合唱講習会を行いました。講師としてお迎えした作曲家で指揮者の相澤直人さんから「合唱は他人を思いやること」「大切なものは目には見えない」というお話を聞き、これからの自分の生き方について考えを深めました。

進路選択では自分自身と本気で向き合っていくこととなります。3年生には、残りの学校生活で後輩に何を残すのか、家族や地域の方に何を伝えていくのかという視点も忘れずに取り組んでほしいです。3学期も自分らしく全力を尽くせるよう、教職員も一体となって生徒をサポートしていきます。



相澤さんと一緒に曲に込められた思いを考える生徒